

平成28年度 学校評価報告書(目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月11日実施)	総合評価(4月10日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>基礎学力の充実を図り、社会の中で積極的に生きていける力を身につける。</p> <p>普通科への学科改編が充実したものとなるよう教育課程の編成に努める。</p> <p>実験・実習や体験活動の充実に努めるとともに、生徒が主体的に学習し、成就感や達成感を味わうことのできる授業づくりに努める。</p>	<p>基礎学力の充実を図り、社会の中で積極的に生きていける力を身につける。</p> <p>普通科への学科改編が充実したものとなるよう教育課程の編成に努める。</p> <p>実験・実習や体験活動の充実に努めるとともに、生徒が主体的に学習し、成就感や達成感を味わうことのできる授業づくりに努める。</p>	<p>基礎学力を重視し、必修科目のより一層の充実を図る。</p> <p>教育課程の編成とともに、これまで蓄積したさまざまな教育資源やノウハウについて、普通科に生かせるよう検討する。</p> <p>各教科、科目が課題を組織的に設定し、評価することを重んじて、生徒の成功体験を積ませる。</p> <p>生徒が主体的、協働的に学べるよう授業研究を組織的に進める。</p>	<p>基礎学力の定着が図れるよう必修科目の学習活動内容が充実できたか。</p> <p>共通教科・科目を中心とした教育課程の編成について、これまで蓄積したさまざまな教育資源やノウハウを生かせたか。</p> <p>生徒が主体的に活動する体験学習を組織的に行ったか。</p> <p>組織的に授業研究、授業改善に取り組めたか。</p>	<p>まず授業開始時の職員の巡回等、授業に集中できる環境作りに努め、授業内容の工夫を進め、基礎学力の定着に努めた。</p> <p>これまでの教育資源やノウハウを生かし、普通科としての教育課程を編成した。</p> <p>ガイダンス科目や実技系科目を中心に、生徒が主体的に活動する体験学習を実施し、生徒の積極的な姿勢が見られた。</p> <p>校内全体で、アクティブ・ラーニングをテーマに授業研究を行った。今後の授業を検討するよい機会となった。</p>	<p>生徒全体にどのぐらい基礎学力の定着が図られているか、状況を把握しながら授業に還元していく。</p> <p>編成された教育課程を運用しながら、よりよい教育課程を検討する。</p> <p>生徒が主体的に参加できるよう、興味関心をうまく引き出す授業内容や方法を探る。</p> <p>アクティブ・ラーニングを取り入れた授業に関して、まだ浸透していない現状がある。次年度は授業研究だけでなく研修等も取り入れ、授業改善に取り組む。</p>	<p>普通科への改編に係る施設について、少人数で授業できるスペースも必要ではないか。</p> <p>生徒による授業評価が、高い教員による授業研究を行う方法もあるのではないか。</p>	<p>(成果) 基礎学力の定着について、普段の授業を大切にする環境作り、授業内容の向上と学校全体で取り組み、成果をあげることができた。 普通科改編に向けてのカリキュラム編成や体制作りに、学校全体で取り組むことができた。 (課題) 基礎学力の充実を図り、生徒が社会の中で自信を持って自らを生かそうとする姿勢を養う。 普通科への学科改編により教育活動が充実したものとなるよう努める。 生徒が主体的に学習し、成就感や達成感を味わうことのできる授業づくりに努める。</p>	<p>基礎学力を重視し、各教科・科目の学習により、生徒が自信をもてる授業の改善を学校全体で図る。 教育課程の実施・検証とともに、これまで蓄積したさまざまな教育資源やノウハウを生かせるよう努める。 生徒が主体的、協働的に学び、成功体験を積んでわかる喜び、知る探求心を培えるよう授業研究を組織的に進める。</p>
2 (幼児・児童・) 生徒指導・支援	<p>社会生活のルールと基本的な生活習慣を身につけ、それを守ろうとする態度を育成する。</p> <p>多様な課題を抱える生徒の状況を理解し、家庭と連携し課題解決に役立てられる適切な指導、支援を行う。</p>	<p>社会生活のルールと基本的な生活習慣を身につけ、それを守ろうとする態度を育成する。</p> <p>多様な課題を抱える生徒の状況を理解し、家庭と連携し課題解決に役立てられる適切な指導、支援を行う。</p>	<p>遅刻指導・頭髪指導などの生徒指導を持続的・組織的に行う。</p> <p>生徒一人ひとりを支援するため、課題の発見、共有に努めるとともに、カウンセラーやメンター、ソーシャルワーカーを活用して、組織的支援に努める。</p>	<p>生徒の遅刻・服装・頭髪に対する意識が向上し、遅刻者数や頭髪指導件数が減少したか。</p> <p>カウンセラーやメンター、ソーシャルワーカーも活用して、支援が必要な生徒に対して組織的な対応ができたか。</p>	<p>年次間で取り組みに対する意識の差が大きく、学校全体としては成果が見えなかった。特に遅刻者数が大幅に増加してしまった。</p> <p>支援を必要とする生徒に対しては問題が大きくなる前に対応ができた。</p>	<p>職員間での意識の統一を徹底する。</p> <p>教員が生徒の日常により気を配り、アンケートや面談を通して、生徒の状況の把握に努める。</p>	<p>生徒支援のキーパーソンとなる職員がいると良い。ソーシャルワーカーなどをより活用していくと良いだろう。 生徒の情報共有できるシートなどがあると良い。</p>	<p>(成果) 基本的な生活習慣に係る指導について、学校全体で取り組んできたが、生徒の状況に大きな改善は見られなかった。 生徒を支援するため、職員の情報共有を密にし、課題の発見、共有に努めるとともに、カウンセラーやメンター、ソーシャルワーカーを活用して、組織的支援に努める。 部活動の推進について、顧問のはたらきかけにより、いくつかの部活動で活動内容が活発になってき</p>	<p>遅刻指導・頭髪指導・バスや電車の乗車マナーなどの指導を持続的・組織的に行う。 生徒を支援するため、職員の情報共有を密にし、課題の発見、共有に努めるとともに、カウンセラーやメンター、ソーシャルワーカーを活用して、組織的支援に努める。 自転車点検や乗り方等の指導はもとより、交通事故を起こさない、巻き込まれない意識の</p>

		交通安全教育を徹底して、生徒が安全に登下校ができるよう努める。  生徒の自己肯定感を培い、他を尊重し、思いやりのある豊かな心をもって他と協調する姿勢を養う。 部活動を推進し、豊かな心を育成し、自主性と自律性を身につけさせる。	交通安全教育を徹底して、生徒が安全に登下校ができるよう努める。  生徒の自己肯定感を培い、他を尊重し、思いやりのある豊かな心をもって他と協調する姿勢を養う。 部活動を推進し、豊かな心を育成し、自主性と自律性を身につけさせる。	自転車点検や乗り方等の指導はもとよりスケアードストレート等の活用により、交通事故を起こさない、巻き込まれない意識の醸成に努める。 生徒が主体的に学校行事や生徒会活動に参加できるよう支援し、リーダーシップを発揮できる場の設定に努める。  部活動加入率を増加させるよう、生徒への動機付けを積極的に行う。	駐輪や乗り方を含め、生徒の交通安全に対する意識が向上したか。  生徒が主体的に学校行事や生徒会活動に参加し、リーダーシップを発揮する場面を設定できたか。  部活動加入率を増加させることができたか。	校内の駐輪状況、登下校の状況ともに変化はあまり見られなかった。 体育祭、文化祭共に生徒が主体的に参加する場面が増えた。  部活動加入率は大きな増加が見られないが、いくつかの部活動で活気が出てきた。	引き続き、HRや集会を通じて生徒に注意を続けていく。  実行委員会を中心とした生徒による活動をどこまで促すか。  全員が主体的に参加するような魅力ある部活動のあり方を検討する。	情報モラルの指導がより重要となってきている。中学校から高校へとつなげていきたい。  生徒同士から情報が伝わるとより加入率が上がるのではないか。 経済的に部活動が厳しい生徒が活動できるようなサポート方法がないか。	た。 (課題) 社会生活のルールと基本的な生活習慣を身につけ、それを守ろうとする態度を育成する。 多様な課題を抱える生徒の状況を的確に把握し、家庭と連携して課題解決に役立てられる適切な支援を行う。 交通安全教育を徹底して、生徒が安全に登下校できるよう努める。 生徒の自己肯定感を培い、他を尊重し、思いやりのある豊かな心をもって他と協調する姿勢を養う。 部活動を推進し、豊かな心を育成し、自主性と自立性を身につけさせる。	醸成に努める。 生徒が主体的に学校行事や生徒会活動に参加できるよう支援し、自らを学校社会の中で生かせる場の設定に努める。 部活動加入率を増加させるよう生徒への動機付けを積極的に行うとともに活動の充実を図る。
3	進路指導・支援	社会の中で積極的に生きていく術を身につけようとする態度とコミュニケーション能力を育成する。  自分の将来設計の夢を描く力を身につけ、卒業時の進路について主体的に判断し、準備が行えるよう支援する。	社会の中で積極的に生きていく術を身につけようとする態度とコミュニケーション能力を育成する。  自分の将来設計の夢を描く力を身につけ、卒業時の進路について主体的に判断し、準備が行えるよう支援する。	授業や体験活動を通じて、コミュニケーションを大切にし、自己理解を深め、新しい自分の発見を促す。  全ての科目や学校の諸活動を通じて、進路や将来の職業について考えられるよう努め、自己を生かせる進路の発見ができるよう努める。	インターンシップ、連携講座、進路フォーラム等の様々なキャリア教育の機会を提供することができたか。  ガイダンス科目や進路ガイダンスなどを通じて、生徒の主体的な進路活動を支援できたか。	インターンシップ、連携講座等様々なキャリア教育の機会を提供した。積極的に参加し、進路フォーラムや説明会の機会に主体的に活動する生徒が多かった。 ガイダンス科目において、外部の講師を校内に招き、校外で体験学習を実施するなど、自らの特性や進路について考えさせることができた。	インターンシップ、連携講座の参加や校外活動へ参加する生徒の意識を育てる。  普通科改変に伴い、ガイダンス科目内の行事を精選し、普通科の総合学習へとつないでいく。	職業を考えさせるきっかけとなる体験活動は、普通科改変後も必要だろう。	(成果) ガイダンス科目をはじめインターンシップ、連携講座、進路フォーラム等の様々なキャリア教育の機会を提供することができ、生徒の主体的な進路活動を支援できた。 総合学科での蓄積を生かしつつ、普通科改編に向けての授業計画を検討した。 (課題) 社会の中で積極的に自らを生かそうとする姿勢とコミュニケーション能力を育成する。 自らの基礎学力を伸ばす努力を大切にし、自分の夢を描く力を身につけ、卒業時の進路について主体的に判断できる力を涵養する。	授業や体験活動を通じて、コミュニケーションを大切にし、自己理解を深め、新しい自分の発見を促す。 全ての学習活動、その他の活動を通じて、進路について考えられるよう努め、自らの夢の実現ができるよう努める。
4	地域等との協働	地域の教育資源が最大限活用できるよう努め、教育活動、職業教育、職場体験を通じて、キャリア形成に努める。  地域や保護者との連携をさらに進め、地域に開かれ信頼される学校づくりを進める。	地域の教育資源が最大限活用できるよう努め、教育活動、職業教育、職場体験を通じて、キャリア形成に努める。  地域や保護者との連携をさらに進め、地域に開かれ信頼される学校づくりを進める。	積極的に地域の施設や人材を活用しながら、生徒が地域の一員である意識を培う。  地域の自治会や市区との対話を重視し、学校が地域とともに発展できるよう努める。	生徒のキャリア形成を進めるために、地域の教育力を活用することができたか。  学校行事や部活動を通して地域との関わり、連携を深めることができたか。	1年次では地域の事業所訪問を実施し、2年次では地域の企業による企業説明会を実施し、地域の教育力を活用することができた。 吹奏楽部、園芸部等の活動を通して地域とのコミュニケーションを図ることができた	これまで培った地域とのつながりを維持しつつ普通科の総合学習への移行を検討する。  一部の部活動ではなく全体での地域への関わりをどのようにしていけば良いのか検討する。	若者には、コミュニケーションが苦手な者が多い。高齢化社会を迎え、異年齢とのコミュニケーション能力がより必要となっている中、そういう機会を大事にしてほしい。  今まで行ってきた地域に出る行事を継続してほしい。	(成果) 積極的に地域の施設や人材を活用しながら、生徒が地域の一員である意識を培うことができた。 (課題) 地域の教育資源が最大限活用できるよう努め、教育活動全体を通じて体験活動を重視しながら、キャリア形成に努める。 地域や保護者との連携をさらに進め、地域に開かれ信頼される学校	積極的に地域の施設や人材を活用しながら、生徒が社会に貢献する意欲と自信をもてるよう努める。 地域の自治会や市区との対話を重視し、生徒が地域で積極的に活躍できるよう努め、生徒が地域の一員として自覚して、地域とともに発展できるよう努める。

									づくりを進める。	
5	学校管理 学校運営	<p>本校の教育活動を積極的に発信し、広報活動を推進する。</p> <p>普通科への学科改編について、必要な整備を行うとともに、中学生等へ周知し、新たな学校の魅力の理解が得られるよう努める。 生徒の防災意識を高め、津波対策にも取り組む。</p> <p>事故・不祥事の防止を徹底する。</p>	<p>本校の教育活動を積極的に発信し、広報活動を推進する。</p> <p>普通科への学科改編について、必要な整備を行うとともに、中学生等へ周知し、新たな学校の魅力の理解が得られるよう努める。 生徒の防災意識を高め、津波対策にも取り組む。</p> <p>事故・不祥事の防止を徹底する。</p>	<p>ホームページの更新を定期的に行い、学校の最新の状況や生徒の活動を発信し、学校説明会等の充実により学校の改革をアピールする。</p> <p>普通科への学科改編が充実できるよう、必要な整備の把握とともに、予算要求等の整理を行う。また、そうした改編による将来像が広く周知できるよう、広報活動を充実させる。</p> <p>防災教育を一層充実させ、自らの命を守る行動がとれるよう指導するとともに、地域社会と協調して、地域に貢献しようとする生徒のこころを養う。</p> <p>日常の点検、注意喚起はもとより、定期的な確認場面の設定を大切にする。</p>	<p>教育活動、生徒活動の情報を校外に向けて発信できたか。</p> <p>普通科への学科改編が充実できるよう、必要な整備の把握とともに、予算要求等の整理を行うことができたか。また、学校説明会等で十分に周知できたか。</p> <p>防災訓練等をおし、生徒の危機管理意識を高めることができたか。</p> <p>事故・不祥事の防止を徹底できたか。特に、適正な会計処理手続きの研修・周知を行い、会計上の事故を防止することができたか。</p>	<p>ホームページを通して、学校説明会の情報等、必要な更新をこまめに行った。また、部活動によっては独自のブログを使い、活動の広報に努めた。</p> <p>学校説明会を5回実施し、学科改編の内容等アピールできた。</p> <p>火災を想定した避難訓練と、地震を想定したシェイクアウト訓練を実施し、生徒の危機管理意識を高めることができた。 事故・不祥事の防止を徹底することができた。特に、適正な会計処理手続きの研修・周知を行い、会計上の事故を防止することができた。</p>	<p>ホームページの情報の更新をよりこまめに行う。</p> <p>今年度の状況を基に適正な時期・規模で実施するよう検討する。</p> <p>生徒がより真剣に取り組めるような訓練内容を考える。</p> <p>正しい会計処理の流れについては、毎年職員に周知していく必要がある。</p>	<p>防災については、中学校・高校・地域との連携を深めていきたい。</p>	<p>(成果) ホームページなどを通して教育活動、生徒活動の情報を校外に向けて発信することができた。 普通科改編について、学校説明会などを通して中学生や保護者に周知することができた。 避難訓練やシェイクアウト訓練などを通して、生徒の防災意識を高めることができた。 事故・不祥事の防止を徹底することができた。特に、適正な会計処理手続きの研修・周知を行い、会計上の事故を防止することができた。 (課題) 本校の教育活動を積極的に発信し、広報活動を推進し、地域や生徒・保護者等広く教育活動の理解が得られるよう努める。 普通科への学科改編による必要な整備を行うとともに、中学生等へ周知し、新たな学校の魅力の理解が得られるよう努める。 生徒の防災意識を高め、命を守り大切にする行動がとれるように指導するとともに、地域社会において、協調して貢献しようとする生徒を育てる。 事故について、未然防止に努めるとともに、起きた際には、最善の対応を尽くす。</p>	<p>ホームページの更新を定期的に行い、学校の最新の状況や生徒の活動を発信し、学校説明会等の充実により学校の変容をアピールする。 普通科への学科改編が充実できるよう、必要な整備を行うとともに、ホームページや広報媒体を通じて、改編による学校像が広く周知できるよう、タイムリーな情報提供に努める。 D I Gの取組など防災教育により、自らの命を守る行動がとれるよう指導するとともに、地域の取組などに積極的に参加して、地域のことを知り、地域の一員としての意識を高める。 日常の点検、注意喚起はもとより、定期的な確認場面の設定を大切にする。</p>